

看護学部紀要の発刊にあたって

看護学部長 松下由美子

本学部が県立大学看護学部となって最初の紀要を、装丁を新たにして発刊することができました。しかし、残念なことに、本年度の掲載論文は例年と比べると大変少なくなっております。

私達の看護学部は、言うまでもなく看護実践者の養成を目指しています。優れた看護教育のためには教員自身が看護実践力を培う必要性があります。また、教育のためにも実習指導を初めとして多大なエネルギーを注がなくてはなりません。その一方で、大学人として研究活動に取り組む必要もあるわけですが、研究時間を捻出するのに苦慮しているのが実態だろうと思います。

県立大学に設けられた地域研究交流センターにおけるプロジェクト研究、看護現場との共同研究、日々の看護教育における評価研究など、幸いなことに私たちは研究の機会や場には恵まれています。このような環境を大いに活かして欲しいと思います。次年度の紀要には、特に若手の教員からの投稿がふるって行われることを期待しています。

2006年3月